

日時：8月22日（日）
場所：相模湖リゾート「プレジャーフォレスト」
住所：神奈川県相模原市緑区若柳1634番地
電話番号：042-685-1111
集合場所：清瀬駅北口西友前・
東久留米駅西口りそな銀行前
※他の出発地については各分会と相談の上決定し、ご連絡いたします。
出発時間：各集合場所午前9時
帰りの時間：午後4時 相模湖リゾート「プレジャーフォレスト」
駐車場出発予定
対象者：組合員と同居の家族
（同居でない家族・親戚の方は※有料となります。
大人：2600円・3才～小学校6年生：2100円）
定員：300人、申込先着順となります。
定員になり次第締め切らせて頂きます。
会費：20歳以上おひとり1,000円・20歳未満無料
（入場料・BBQ食べ放題＋飲み物込み）
※乗り物料金は含まれておりません
詳しくは各分会夏イベント実行委員または支部までお問い合わせ下さい

地球上に核兵器はいらない！

B 29の墜落

私の郷里は九州の大隈半島です。家から20km程先に海軍鹿屋（かのや）航空隊がありました。ここは沖縄戦の前線基地であり、米軍はこの基地を襲撃する為集団でやってきました。迎撃するため飛び上がる日本軍機は高度もスピードもはるかに及ばない。空中戦をやっても撃墜されるのは日本軍機ばかりで、戦況が不利になると機体をくramsす為に煙を噴出して逃げてしまう。その後、地上から敵機を目掛け高射砲をドーン!!と打つがまったく届かない。

鹿屋から沖縄戦に、どれほどの飛行機が向かったのかわからないが、夕方になると高隈山（1,037m）をかすめるように一機か二機帰って行く姿を見ました。しかし、一度だけ奇跡が起きた。

笠野原上空で日本のトンボ機が、巨大な米軍機B29を見事に打ち落としたのである。

もくもくと立ちのぼる黒煙は本当に凄いものでした。

桜島の爆発の煙は見慣れていたが、B29の煙には驚きました。

B29が落下したのは隣の百引村の畑であった。よせば良いのに集落の仲間と共に現場を見に行きました。

怖いもの見たさである。

あの残骸の凄さは、今でも忘れる事はできない。

滝山分会 寺園静雄

ゝ平和、へのキーワード

『祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。
沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらはす』

『平家物語』の冒頭である。平家一門の栄枯盛衰を題材にしてゝ無常、を描いたものと言われている。

無常とは仏教の考え方で、「すべてのものは移り変わる運命にある。権力や富もいずれはなくなってしまうのだから、地位や名声などを求める自分中心の考え方を捨て、他人に感謝されることを最上の喜びとするゝ慈悲、の心をもった生き方をしなさい。」というのである。それを極端に表したのが「情けは人の為ならず」ではないだろうか。

他人を思いやる気持ちが巡り巡って自分への善意となって返ってくるのである。

立場が逆になれば「おかげさま」ということになる。

私たちが新鮮な野菜を食べる事ができるのは、太陽、雨、大地、そして農業に従事する人達、それを私たちの手元に届けてくれる人達によって可能になるのである。

我々はなにかに依って、誰かのおかげで生きている、活かされている。

「感謝・おかげさま」が生き方の基本と言ってもよいのではないだろうか。

これは日本的な考え方かもしれないが、国も民族も宗教も越えて、地球の至る所で共有し得る概念だと信じている。

相手を思いやる余裕があれば、個人的ないさかいも、国家間の紛争も起きることはないだろう。

ゝ平和、へのキーワードは「感謝・おかげさま」

青空分会 川本尚之

平和行進に参加して

7月25日東久留米市役所前平和公園に集まりひばりヶ丘団地まで、土建の仲間と他市民団体の方々と平和行進を行いました。

炎天下の中、パトカーに先導してもらい、60名の行列で核廃絶、憲法9条を守れ、非核三原則を守れ、戦争のない平和な世界の実現を目指し、精一杯元気に大きな声で地域の人々に訴えて歩きました。

イトーヨーカドーに買い物に来た人、南沢遊水地で川遊びする家族、行きかう自転車や自動車の人達、皆無関心で、自動車の人などはとても迷惑そうな顔で行進を見ていました。

平和な世の中に慣れすぎて、何でも人任せ、しかし結果に対しては批判をする、自分では何も行動を起こさない、起こせない人達がまだまだ多くいるように感じました。

そんな人達も真剣に核兵器、世界平和に声を一つにして行動に移せる、世界をリードするような平和推進国になっていたら良いのにな!!

だって世界で唯一の被爆国なのだから。

南町分会 荒牧好孝

平和の有り難味

私は昭和45年生まれなので、戦争は歴史の勉強でしたのと、映画やテレビで見て、感じるだけで、非現実的なものでしかありません。

戦争には幸せな事などどこにもない、戦場と家族の再現を映像で観ると「もし、今が約65年前の日本で、戦争真只中だったら・・・」と想像するだけでも恐ろしいです。

第二次世界大戦後、一度も戦争をした事のない国は、日本を含め一桁しかないのだそうです。

戦争によって、尊い命が今もどこかで亡くなっているのが、悲しいですが現実です。

平和な時代の日本で、生活できている事を改めて幸せに思います。

三葉分会 牧野英作

核のない世界へ

オバマ大統領の「核廃絶の決意」表明を皮切りに、昨年秋の国連総会では核軍縮関連の決議が多数採択され、日本でも核兵器廃絶に向けたNPT世界会議では、全会一致で「核廃絶の約束を実行」する決議が採択されるなど、私たちの核廃絶への運動が大きく前進しました。

しかし現実には「核廃絶」への道のりは決して平坦なものではありません。他国からの攻撃を受けないために「核抑止力」としての、核装備は必要だという考えの人や国が少なくないからです。

日本でも周辺国の脅威に対抗する為「アメリカの抑止力はまだまだ必要だ」と言っている政治家や評論家がテレビの討論会などで見られます。「戦争は絶対にすべきではない」これは多くの国民の願いです。しかし、他国から安易に攻められない為、平和な日本を守るそのために軍隊が必要だ、また戦争をしない縛りとしての「平和憲法9条」は変えるべきだ、北朝鮮が核兵器を持つなら日本も持つべきだ、等の意見も後を絶ちません。

今多くの国が領土などをめぐり、トラブルを抱えています。しかし、この問題の解決は「戦争」という武力行使ではなく、「政治的な話し合い」でなされるべきだ、という考えは世界の大きな流れです。

戦争が起きれば多くの犠牲者が生まれ、勝つ為に最終的に必要なのは「核兵器」という事になります。

「戦争の防止」と「核廃絶」はともに運動を進めて行く必要があるのではないのでしょうか。

日本はかつての戦争で、国の内外に多くの犠牲を生み、広島・長崎で被爆しました。

「平和憲法9条」の精神を世界に発信し、唯一の被爆国として「核兵器廃絶」を訴えていきましょう。

元塩分会 石垣雅之

日本が危ない

日米安保体制・日米同盟の根幹には日米地位協定「密約」がある。それはアメリカ軍基地を自由に使用する特権を認めている、米軍は自由に日本の領土、を出入りして、朝鮮、ベトナム、湾岸、アフガニスタン、イラク、すべての戦争にも出撃していけるのです。

それは現在も続いており、在日米軍基地はアメリカが世界中に対し、戦争を可能とするための海外基地網の一環となっています。基地があることにより、米軍兵士の犯罪が多発しています。沖縄の少女暴行事件や、2006年、横須賀での女性に道を尋ね、立ち止まったところを殴るけるの暴行、その後現金を奪い逃走したが、空母キライホークの乗組員と判明し、逮捕。公務中ではなかったため日本で裁かれ、今も服役中である。被害者の女性は右腎臓、肝臓が破裂し出血死している。

遺族は加害者からも日本政府からも保証されていない状態で、今も高裁に控訴中である。犯行が公務中に行われたものなのか否かは定かではない。

米兵の犯罪の結果は、実に甘い結論が多い。例えば自動車の運転中、人身事故や交通違反した場合、米兵が「公務中」と主張すると日本側は真相を確認する事が出来ない。アメリカとの「合意事項には」公務中かどうか分らない時は、米側に引き渡すとなっている。世界約40カ国に基地を置く、米国の利害に直結する問題になるからである。

なぜ日本政府は「地位協定の見直し」を米国側に求めないのかは、海外で自衛隊が米軍同様の特権を、持っていたいという姿勢が見え隠れしているという考え方もされている。

イラクに派遣された航空自衛隊は、米軍から実戦的な様々な戦闘、訓練を学び、演習を重ねている。

仮定として、政府が集団的自衛権の使用を決めた場合、自衛隊も多国籍軍に参加しアフガニスタンのような戦場で米軍と共に戦闘できるほどの戦力を自衛隊は蓄えつつある。

今日の日本の若者達の状況は仕事なし、金なし、住まいなしの貧困層が増え続け、生活環境が悪化し、ドラッグや犯罪に手を染めるアメリカの兵士たちに、環境が近づいてきたように思える。最近では手っ取り早く衣食住の心配のない自衛隊入隊の動きを促がす、勧誘なども行われている。

あるテレビで、20歳代の女性たちが泣きながらも銃を構え、ほふく訓練をしているのを見たことがある。

その女性たちは国家公務員を目指していると口を揃えていていたが、この先日本はどうなってしまうのか恐ろしくてたまらない。

沖縄普天間基地の問題や雇用不況、仕事不足などの問題も山積みである。

これからの日本には、少しでも平和への方向に突き進んでほしいものだ、二度と馬鹿な人殺しの戦争だけはしてはいけない。歴史は繰り返されるというのが、繰り返すことなく平和を追求する国であってほしい。

世界で唯一の被爆国なのだから。



瘤の思い出

小学三年生か四年生の頃によく先生に頭を叩かれた記憶である。

授業中に一人でも余所見をしたりムダ話をしたりすると、全員を叩くのである。

これは天皇崇拝を目的とした軍人政治の命令により、連帯責任を子どもに植え付けられるための集団的洗脳教育の一環である。

子どもとしてはたまったものではない。叩かれる度にみみずばれになり、頭の瘤が消えた事がないような、状態である。

叩く時につかうのは、教材で厚さ一センチくらいのベニア製の大きな分度器や、三角定規、それに竹の棒だ。

叩いた時にミシッと音がすることがある。三角定規が少しずつ壊れていく音だ…。

男女問わず、痛いので皆涙する。

今時の子どもなら泣き叫ぶだろうが、当時の子どもは戦時中とはいえ、親に迷惑が及ぶ事を恐れ我慢したのだ。

先生も、連帯責任を植え付ける教育をしないと、職員会議で天皇崇拝者によって先生自身が吊し上げに会うからだ。

それにしても気合が入っていた気がする。

戦争とは怖いものだ。

北浅分会 小野定康

清里分会 鈴木勝雄

7・25 原水爆禁止国民平和進行



核兵器のない世界を願ってデモ行進

沿道からの声援、元気を貰った!!

平和行進清瀬市コース

7月25日8時半、清瀬市役所前にて、原水爆禁止2010年世界大会に向けて、平和行進が炎天下の中行われました。

開会式では、清瀬市長代理のメッセージや、原水爆禁止清瀬協議会石崎氏の挨拶、清瀬市地区協議長の石垣氏の挨拶がありました。

その後、今回広島に清瀬市の代表として参加する代表10名の決意表明がありました。

今回組合からは、主婦の

就業実態申告書 記入相談会

先月より皆様においております就業実態調査において、支部への電話相談が相次いでおります。

電話だけではの相談では困難な状態ですので、相談会を左記の日程で行います。

お困りの方は支部へ電話でご予約の上お越し下さい。

日時：8月26日(木) 27日(金) 29日(日)

平日受付時間

午前の部：10時～11時30分
午後の部：13時30分～16時
夜間の部：19時～21時

休日受付時間

29日(日)の相談は
午前10時開始 午後15時終了です

当日の持ち物は・就業実態申告書・印鑑・必要添付書類を持参してください

※事前に支部にてご予約をしてください

TEL：042-473-8751

炎天下、声高々にデモ行進

平和行進東久留米市コース

「核兵器のない世界を」
かけ、7月25日、東久留米の仲間がほんちよう第二広場に集まりました。

平和モニメントが建つ公園の集会では原水禁世界大会代表団の結団式が行われ、支部より派遣の山岸さんが「自分の目でしっかりと見てきます」と決意表明をしました。

三葉分会 北島 晃

7月25日(日)夏の平和行事の一つである平和行進が酷暑の中行われた。

今年の参加者は若者が多く、100名近くの市民が平和公園に結集しました。

原水禁大会に向け各代表

青空分会 片見 学

土建からの参加者は20名程で、「核のない、戦争のない世界を」「アメリカの基地はいらない」「憲法九条を守ろう」などアピールし、竹丘公園まで約3kmの道のりを行進し、無事に東久留米市にバトンタッチが出来ました。

世界平和の為に頑張ろうと誓い合った1日、御苦労様でした。

清里分会 鈴木勝雄



思い出

6月27日(日)、分会の潮干狩り旅行がありました。行き先は千葉の木更津、参加者は総勢30人。その中に前日の晩、清瀬アミューズ送別会をした書記の中山君も招待客として参加してくれました。

行きも帰りもビール飲み放題で、盛り上がりました。

潮干狩りの時間は2時

飲んで楽しい分会旅行 北浅分会

間半程で、入場券と一緒に渡された丸網に、大きな目のあさを網いっぱいに採りました。

持ち帰り規定量を超えてしまった人は、追加料金を支払い持ち帰りました。

収穫の多い人も、標準だった人も、ビールを飲んだ人も、飲まなかった人も、それぞれに潮干狩り旅行を満喫し、満足できる楽しいバス旅行になりました。

これも幹事さんのお陰です。幹事の佐野さん、御苦労様でした。

飲まない人より。

北浅分会 小野定康

